

SSKP
はばただより
Vol. 105

編集 社会福祉法人おおぞら会 アクティビティセンターはばただ

編集責任者 三浦 明雄

〒181-0014 東京都三鷹市野崎3-17-9

TEL 0422-32-3234 FAX 0422-32-3274

URL <http://habatake.jp/>

2009年度も 元気に出発します!!



～満開の桜の下にて～

《新年度・出発式とお花見散策（野川公園）》

新年度がスタートしました。4月1日には出発式が行われ、利用者・家族・職員が一同に揃いました。今回の出発式ではパワーポイントを活用して、クッキー・てすき・ており・活動の各班が今年度の活動をPRしました。メンバーの元気に活動する写真や班の目標などを織り交ぜた内容に、会場からは声援や拍手が起きるなど賑やかで明るい出発式となりました。また4月3日には野川公園でお花見散策をしました。満開の桜や人で賑わう中、ゆっくりと春のひとときを過ごしてきました。

では今年度もよろしくお願いします！

* トピックス *

進路に悩む高校生

入りたいのに入れない、
選びたいのに選べない！

新年度になると、はばたけには特別支援学校から進路指導の先生がご挨拶に来てくださいます。ここ数年、先生との会話は「今年度の卒業生の数は…?」「はばたけさんの定員の空きは…?」とと恐る恐る聞きあうところから始まり、歯切れの悪い回答と、そして最後にはため息というやりとりがパターンになりつつあります。晴れ晴れしいスタートの時期に、わざわざ出向いていただいて、できればこんなやりとりはしたくはないのですが、なかなか前向きなお話にならないのが現実です。

問題は、第一にはばたけの定員がいっぱいであるということ。もともと30名の定員を33名にした上で、さらに受け入れを行ってきましたが、昨年度4名を受け入れた時点で38名となりました。利用者ひとりあたりのスペースや支援の質を保つためにも、このまま受け入れていくことはできず、とうとうその後希望された4名をお断りするという初めての事態が生じてしまったのです。「はばたけに入りたい」「実習をしてはばたけを選びました」と言って下さる皆さんの希望を叶えることができなかったことは、社会福祉法人としての力量不足を痛感せざるを得ません。法人としても、このような状況から「もうひとつ通所の場を!」という動きをつくり始めていますが、場所や資金など難題も多く、思うように進んでいないのが現状です。

そして、もうひとつの問題は、三鷹市における障がい児童数の多さです。三鷹市に近い都立府中朝日特別支援学校(知的障害のある子どもたちの通う高等学校)では、三鷹市在住の在校生が2009年4月現在で45名います。今後3年間の間に、毎年15名前後の卒業生が見込まれるということになります。現在3年生の進路希望でも、福祉就労(はばたけのような福祉施設への通所)を希望している方は多く、すでにはばたけを希望されている方もいるとのことのお話です。そしてまた、近隣には府中特別支援学校や武蔵野東学園など、障害のある生徒さんが通う高等学校が他にもあります。

これらのことから、卒後の問題は、はばたけの定員数だけで解決できる問題ではなく、三鷹市内の施設や作業所・就労支援センターなどの関係機関や地域の自立支援協議会、行政・学校を巻き込んで考えていかなければならない課題と言えます。

「社会へ出るんだ」という憧れや期待を持って実習に臨む生徒さんたちの目は、みんなとってもイキイキしています。そして実習を終えたときの顔は、自信もプラスされて、さらに引き締まったいい表情になります。そんな顔をみていると、心から「はばたけに通ってもらいたいな」と思うのです。進みたい進路への選択肢があること、希望した進路を目指せる環境が、何よりその人のやりがいにつながります。

決められる人生ではなく、自分で考え選択していけることで、人は自立を実感できるものです。たとえその選択がうまくいかなかったとしても、選んできた過程にこそ意味があり、それがあればきっと納得することもでき、次へとつながるでしょう。それは障がいがあってもなくても同じであるはずですが、できるだけ選択肢を作ることこそが社会保障であるはずなのに、利用者負担を増やし施設運営をも圧迫する「障害者自立支援法」は、やはり自立を支援することと離れた考えに思えてなりません。



…はばたけのひるやすみ…

★新企画コーナー！！★
地域の“この人”に聞きたい！！

第1回 清水農園さん(三鷹市 野崎)

今号から地域企画として、はばたけと関わりのある地域の方を紹介していきます。

第1回目は三鷹市野崎の「清水農園」です。清水農園の歴史は古く、なんと！江戸時代末から続いていて現在で5代目に当たるそうです。古い歴史をもつ清水農園ですが、農園主さんの元職業は家電メーカーサービスマン！21年前にリターンして実家の農園を継いだそうです。

そんな清水農園の特徴は、「少量多品目」「自家製堆肥」「地産地消」です。栽培している野菜は、春はカキ菜(のらぼう菜)、夏はトマト・ナス・キュウリ・トウモロコシ・枝豆など、秋冬は大根やキャベツ・ブロッコリー・カブ・椎茸など、季節に合った野菜をつくっています。さらにホウレンソウ・小松菜などの葉物類やコリアンダー・ルッコラといったハーブ類、さらに珍しいものでは沖縄原産の島ラッキョウ(左下写真)などを含めると、栽培している野菜は40種類以上になります。(一部状況により農薬、化学肥料使用栽培)また自家製堆肥は、国際基督教大学の落葉を共同で集め利用しています。その量は軽トラックで20台分以上にもなります。堆肥はその落ち葉に野菜残渣・米ぬか・もみ炭・剪定チップなどを加えて混ぜ込む「切り替えし」を2年かけて行ない、発酵・熟成させてから使用しています。そして、はばたけのタマネギ皮むき作業で毎日出る皮などもご厚意で堆肥に混ぜてもらっています。いつもありがとうございます！



●穫れたての島ラッキョウです！

清水農園のお客さんの約8割はご近所の人達で、地域の方々に愛されています。そして、そんな美味しい野菜に目をつけたのが味に敏感な料理店。三鷹市内のインド料理教室や西荻窪の和食ダイニング・都内のイタリア料理店など多くのシェフが清水農園に直接足を運んで野菜を仕入れています。「ウチはお客さんが口に入れて“うまい！”と思うような美味しい野菜づくりにこだわっています。そして旬の野菜を旬の時期に食べるように、またお客さんが野菜を穫った感激を体験できるように毎日頑張っています。」と農園主さんは語ってくれました。また仕事に加えて三鷹二小の畑見学授業対応や野崎保育園との給食野菜納入など、市内の「食育」分野にも深く関わっています。さらに三鷹市消防署の災害ボランティアや西部地区住民協議会・野崎町会の防災部員を務め、地域を災害から守るためにも活動しています。農業に汗をかき、さらに地域のつながりにも問題意識をもって関わっている農園主さんの言葉には、仕事と地域を愛する思いがあふれていました。いつも美味しい野菜をありがとうございます。これからも清水農園を応援しています！

はばたけのいちおし！コーナー

今回はこの商品☆
アマンドショコラ



かみしめる度に口の中に広がるココアの風味とサクサクなアーモンドの食感。

この美味しさを表現するには、小麦粉・ココア・アーモンドを絶妙なタイミングで混ぜ合わせなければいけません。作り手の長年の勤が活かされる一品です。

* 香草亭のほかに「星と風のカフェ」「C-cafe」などでお買い求めいただけます。

* 利用者のページ *

ひと味ちがう!? 今年度のはばたけ

これからの「はばたけ」を職員で検討していた年度末。今の作業班の内容を見直し、それぞれにもっとやりがい持てる作業を展開していこうと話し合いを重ねました。

クッキー班は『仕事』としての位置づけを明確にし、より働きがいをもてるように…、公園清掃は時間を変更してよりしっかりと落ち着いて取り組めるように…など、わかりやすい形で、またそれぞれがもっている力を十分に発揮できる環境を整理して、それに利用者の皆さんが馴染んでいけるように、1年間を通して取り組んでいきたいと思っています。

さてさて、はばたけ4つの作業班…さっそく今年度の意気込みをきいてみましょう！

ており班

玉ねぎの皮むき作業（八百屋さんからの下請け）とており作業の2本立て！

ておりは“じっくり・ゆっくり” 玉ねぎは“ガンガン”

～ひとりひとりのペースを大事に、取り組みます！～



“交流”がテーマの今年は、施設内にこもりがちな作業活動をどう地域とつないでいくかが今年度のポイントです☆…さあ飛び出せ！ており班！！

- ・ ており作品の展示会開催
- ・ 地域の子どもに教える「ており体験」
- ・ 玉ねぎの皮を堆肥で使ってくれている農家との交流

てすき班

原料をつくる人・紙漉きをする人・印刷をする人・・・どの役割が欠けても完成しません

「できました」「ありがとう」「おねがいします」

～言葉をつないで、人をつないで、輪をつくってきます！～

一枚の紙を作るには、全員の力が必要です。普段はそれぞれの分担を担っているからこそ、集まった時間を大切に結束力を高めていきたいと思っています！

- ・ ミーティングや帰りの会を充実した時間に！
 - ・ みんなの個性が光るオリジナル商品づくり
 - ・ 「てすき体験DAY！」の復活
- …てすきのおもしろさを地域の子どもに伝えよう



活動班

午後の活動プログラム中心から、作業を通しての“やりがい”に注目！
楽しく・力を活かして・関わりあい・よろこびにつなげる
～目と目・言葉での語りかけを丁寧に～

毎日の関わりの中で感じたひとりひとりに
内在する力。お互いを感じることで、“やりがい”を
もつことはいきいきした毎日につながります。

- ・担当職員とだけでない関わりを広げます
- ・“あいさつ”を大切に、地域をつなぎます
- ・ハーブ畑から、活動班の自主製品を！



育てたラベンダーで
入浴剤をつくるぞ！

クッキー班

食べて幸せになるおいしいクッキーをたくさんの人に届けたい！

めざせ！うりあげ1.5倍 みんなの力をひとつに
～毎日のがんばりが自信につながるように～



毎日の立ち仕事、急な残業…たくさんの注文に
応えていくためには、仕事の厳しさもたくさん実感
するクッキー班。だからこそそのやりがいなのです！

- ・作業時間を9時スタートにします
- ・工賃体系を独立採算制にし、高い工賃を目指します
- ・手洗いからみだしなみも仕事として位置づけます

公園清掃

地域の公園をきれいに！

掃きます・抜きます・集めます

～暑さ・寒さにも負けず、しっかりと～



地域の公園清掃は、三鷹市から請け負っている
大きなお仕事。掃き掃除に草むしり…それぞれ得意
なことを丁寧にしっかりやれるようにしていきます。

- ・作業時間を午後に移動して、30分延長します

それぞれの目標に向かって、さあ出発！

* おおぞら会後援会ニュース *



★後援会新規ご入会・ご更新★…ありがとうございました（敬称略）

2008 年度 12/4～3/31 分

個人 6 名の方、企業 1 社様よりご入会・ご更新をいただきました。

2009 年度 4/1～4/24 分

個人 4 2 名の方より、ご入会・ご更新をいただきました。

★後援会へのご寄付★…ありがとうございました（敬称略）

2008 年度 12/4～3/31 分

壽交通株式会社



★法人・施設へのご寄付★…ありがとうございました（敬称略）

2008 年度 12/4～3/31 分

ライズクリエイティブ

おおぞら会後援会

その他個人 1 2 名の方から法人・施設へのご寄付をいただきました。

2009 年度 4/1～4/24 分

はるかぜの会

その他個人の方から法人・施設へのご寄付をいただきました。

後援会の寄付と法人寄付について

例年多くの皆様から「はばたけだより」に同封している払込用紙（料金加入者負担）によって、おおぞら会の会費を頂いております。

ご存知のことと存じますが、この会費は一旦社会福祉法人とは別組織の後援会への収入となり、皆様の会費を合わせて一定時期に法人への寄付とさせて頂いております。後援会は税法上の控除はありませんが、社会福祉法人おおぞら会へのご寄付を戴くと **1 万円を超える部分が税法上の寄付金控除の対象となります。**

従って払込用紙を使ってご送金くださった金額でも、法人の領収書を必要とされる方は 払込用紙通信欄にその旨ご記入下さい。後日法人より寄付金申込書用紙をお送りいたします。お手数でもこの寄付金申込書に捺印されご送金くださると、法人から寄付金領収書をお届けいたします。この領収書が寄付金控除申告の際、添付資料となるものです。

★後援会総会を開催します！★

2009 年度の社会福祉法人おおぞら会の総会を開催します。今後の厳しい情勢に向かって一致団結していく総会にしようと各種企画を用意しています。会員の方はぜひご参加ください！

★ 日時 5月30日(土) 午後3時～5時（お楽しみ懇親会も用意しています！）★

活動日誌

1 月 1 日 (木) ～4 月 30 日 (火) まで

1 月 ～4(日)	冬休み	3 月	4(水)	方針会議
5(水)	初詣・書初め		5(木)	理事会
23(金)	健康個別相談		7(土)	みたか菓子フェスプラス(福祉施設自主製品祭)
24(土)	理事会・評議員会		17(火)	健康個別相談
28(水)	総括会議		18(水)	嘱託医健診
30(金)	節目を祝う会		21(土)	ルーキーズライブ(吉祥寺曼荼羅)
			24(火)	家族会
			28(土)	理事会・評議員会

職員会議 9(金)

2 月 10(火)	第三者評価(利用者聞き取り)	職員会議	13(金)、27(金)
16(月)	健康個別相談		
18(水)	方針会議	4 月	1(水)
24(火)	家族会(成年後見学習会)		13(月)

職員会議 13(金) 27(金)

職員会議 10(金)、24(金)



◎来訪された方々(4月30日現在)

TKC・櫻井様 ミュージックボランティア協会様 府中特別支援学校様 東京ガス様 リンナイ様
 とも企画設計様 つばさ訪問看護ステーション様 (株)東京ライフサービス様 菅野様 荻野様
 三鷹市役所・波照間様 調布市役所様 吉橋様 NPOアンリミテッド様 プレゲンズ・ジャン様

◎実習生の方々(社会福祉援助技術実習・介護等体験・養護学校進路実習)

臨床福祉専門学校・中里様、免田様、福田様、横山様、小山様
 府中特別支援学校・蓑川様、土肥様

～施設長のひとりごと～

ぼくは、毎朝トイレで5分間読書をしている。今は、木原孝久著「ボランティア・セラピー」を読んでいる。この本は、いつも人の援助を受けている要援護者こそがボランティアをしたがっているという。福祉の専門家という担い手は、一方的に利用者にサービスをするという構図に慣れきっているから、こういうことは思いもよらない。たとえば、要介護の高い一人暮らしのお宅に、近所の世話やきさんが訪ねて買い物をしてあげる。そのあとでお茶を飲みながら井戸端会議、ときには世話をやいた相手に愚痴を聞いてもらう。そんな自然な関係が地域にあれば一人ひとりの尊厳も守られる。人は、人から世話されっぱなしはきついものだ。この前、親の介護をしていた人から「利用者」という言葉が嫌いだと言われた。言葉の中に、世話する人と世話される人とを明確に分ける意図を感じ取っていたのかもしれない。

ところで、はばたけは「お世話から支援へ」を課題にしている。介助のしすぎが利用者の力をますます萎えさせてしまう。一人ひとり多くの可能性と力を持っている。自身がそれに気づき、生活する力として使いこなし、納得のいく人生をおくれる環境を整えるのが支援だと思っている。

「ボランティアセラピー」はその環境を地域でつくっていく上でとても刺激的内容を提供してくれている。日本は昔から「お互い様」を大事にしてきた。この言葉をキーワードに地域でなにか事業ができないだろうかと考えている。いいアイデアがあったら聞かせてください。(三浦 明雄)

information

お宅に眠っているものありませんか？

バザー品の提供をお願いします！

衣料品・日曜雑貨・贈答品・コミック本など
いずれも新品か新品同様のものを回収いたします。

☆回収できないもの☆

電化製品・家具・ふとん・人形・書籍（百科事典などを含む）

使用済みスポーツ用品・使用済み食器など・・・

その他、シミ・カビ・キズ・汚れのひどい商品は回収できませんので、ご了承下さい

☆市内・近隣地域へは回収にお伺いします！☆

お気軽に
お電話ください！

TEL 0422-32-3234（電話受付は平日9時～17時です！）

今年のバザーの開催は… **9月27日（日）です！**

★ 詳細は はばただまでお問い合わせください ★

社会福祉法人 おおぞら会

● アクティビティセンターはばたけ（知的障害者通所授産施設）

〒181-0014 三鷹市野崎3-17-9 TEL 0422-32-3234 FAX 0422-32-3274

● サポートネットあすは（移動支援〔居宅介護〕事業）

〒180-0014 武蔵野市関前2-5-14 TEL・FAX 0422-36-5151

● ショートステイさくら（短期入所事業）

〒180-0014 武蔵野市関前2-5-14 TEL 0422-54-4631

● つなぐなかまの家・さくらハイツ（グループホーム・ケアホーム事業）

募集しています！

「サポートネットあすは」と「ショートステイさくら」では、ヘルパーを募集しています。
ヘルパーをご希望の方や興味関心がある方は、お気軽にご連絡ください！

★お問い合わせは→ TEL0422-36-5151 担当「立野」「内田」までよろしくお願いします。



<http://habatake.jp>

〔編集後記〕

5月10日（日）に調布の味の素スタジアムで「第2回味の素スタジアム感謝デー」がありました。そしてはばたけのバンド、ザ・ルーキーズも三鷹代表として出演してきました。通常は入れないフィールドエリアでの演奏に、短い時間でしたがメンバー一同で興奮を体感してきました。ルーキーズも遂にスタジアムデビューを果たした!?貴重な体験でした。（ト部）

発行 障害者団体定期刊行物協会 〒157-0073 東京都世田谷区砦 6-26-21

企画・編集 アクティビティセンターはばたけ 編集責任者 三浦明雄 編集委員長 伊東暁子 編集委員 ト部禎生 中野昭精〔頒価 50円〕